

	12月の障害者週間にあわせた		事前のお知らせ
	3大イベントを開催!		
とき	障害者フェスティバル	12月5日(土)	午前10時～午後3時
	障害者福祉大会		午前10時～午前10時50分
ところ	光が丘区民センター、光が丘公園ふれあいの径(光が丘2-9-6)		
	練馬区立美術館(貫井1-36-16)		

区は3日から9日の障害者週間にあわせて「2015 障害者フェスティバル」と「第39回障害者福祉大会」および「障害者ふれあい作品展」を開催する。
全て入場無料。各イベントの概要は、以下のとおり。

【2015 障害者フェスティバル】(会場：光が丘区民センター)

障害のある方に対する理解や認識を深めることを目的に、障害者週間にあわせて開催している。毎年約1,500人が来場する人気イベント。

今年のテーマは、『みんな おなじ 練馬のなかま』。

練馬福祉園(大泉学園町9-4-1 社会福祉法人武蔵野会(上野純宏理事長)運営)の佐藤功守(さとう よしもり)さんを実行委員長とし、障害者福祉に関わる区民の皆さん(54人)が実行委員となって、企画・準備を進めてきた。

当日は、区内54の福祉団体・施設が参加。舞台発表では手話コーラスやピアノ演奏など日ごろの練習成果を披露する。また、障害のある方が制作した作品の展示や47の模擬店が並び、「織物製品」や「パウンドケーキ」などの自主製作品をはじめ、「豚汁」や「焼きそば」などを販売する。

その他アトラクションとして、健康チェックコーナーや起震車での地震体験コーナーなどを設置する予定。

各会場には手話通訳や要約筆記を配置し、障害のある方とない方が気軽にふれあい、交流できる場となる会場づくりを心掛けている。

【第39回障害者福祉大会】(会場：光が丘区民センター)

地域で活躍している障害のある方や、障害者福祉の向上に寄与した方を表彰する。障害者福祉の向上に功績のあった方9人と、地域で活躍された方2人の計11人を表彰する予定。



【障害者ふれあい作品展】(会場：練馬区立美術館)

12月9日(水)～13日(日)に開催。

区内の障害者施設の利用者などが制作した絵画や陶芸など、250点を超える個性豊かな作品を展示する予定。

年々展示数が増えており、今年で5回目を迎える人気企画。入場無料。

【左：昨年の様子】